

跡見学園女子大学

# 人文学フォーラム

Vol.14/2016

第 14 号



## 特集「政治と人文学」

笹島雅彦 三谷 博 Paul Horness

論文／杉本昌裕・小宮山郁子 村田 宏 植田恭代 阿部一哉

随想／森まり子

研究ノート／岩本憲司 神山伸弘 篠塚二三男 藤崎康彦

## ■ 表紙図版解説

### 表紙『聖橋』日本画SM 2016年

---

写真では描けないものを表現したい、また、夢のある作品をつくりたいと絵に向かう。大学時代よく通った「聖橋」を描き始めたのは2015年夏である。手帳に30秒ほど走り描きしたスケッチが形になった。この間、バリで展覧会をという企画があり活動を開始したが、テロが起これり休止状態である。政治や経済に絵は左右されるべきではないが、この小品に半年近くを費やしたのには何か理由があるのかも？…題名は『聖橋』である。

### 裏表紙『バルタン』スタンドガラス16×29 cm 2008年

---

はじめて跡見学園女子大学の工芸室に入ったのが平成16（2004）年、もう10年以上も前のことである。工芸室には様々な機械や道具、材料がありウキウキした。中でもガラス材料・道具が気になった。それから4年、スタンドガラスを制作している卒業生に出会い基礎を習った。『バルタン』はそんな私の二作目である。昨年から授業で、学生にティファニー型スタンドガラスを教えている。本学でスタンドガラスに出会い、卒業生から技法を習い、今、指導している。跡見学園女子大学のよき伝統は、このように繰り返されていく。

文学部人文学科教授 杉本昌裕